



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年11月11日

上場会社名 大伸化学株式会社

上場取引所 東

コード番号 4629 URL <http://www.daishin-chemical.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀越 進

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 山口 利美

TEL 03-3432-5872

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	14,309	2.0	845	93.3	868	90.8	601	101.7
2019年3月期第2四半期	14,594	12.7	437	41.2	455	39.9	298	39.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	131.39	
2019年3月期第2四半期	65.15	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	20,328	12,503	61.5
2019年3月期	20,617	12,077	58.6

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 12,503百万円 2019年3月期 12,077百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		30.00	30.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,471	0.4	1,442	47.3	1,478	46.0	1,012	41.9	221.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、8ページ「2.四半期財務諸表及び主な注記」(4)四半期財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	4,592,000 株	2019年3月期	4,592,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	16,720 株	2019年3月期	16,720 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	4,575,280 株	2019年3月期2Q	4,575,281 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績につきましては、当社が現時点で入手可能な情報をもとに行った見込みであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページ「1.四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得の改善が続き、景気は緩やかな回復基調に推移いたしました。米中貿易摩擦による海外経済の不確実性や中東地域における地政学リスクの高まりなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社が主として関連する塗料業界におきましては、こうした経済環境のもと、出荷数量は前年並みの水準となりました。

このような情勢のもとで、当社における当第2四半期累計期間の製品出荷数量は、81,171トン(前年同期比1.7%減)となりました。

当第2四半期累計期間の業績といたしましては、売上高は営業日の減少などから製品出荷数量が減少したことや国内の原油・ナフサ市況が前年に比べて低水準で推移したことにより販売単価が下落したため、143億9百万円(同2.0%減)と減収になりました。

主な品目別の売上高は、ラッカーシンナー類が3億74百万円(同3.2%増)、合成樹脂塗料用シンナー類が3億10百万円(同4.6%増)、洗浄用シンナー類が9億41百万円(同6.3%増)、印刷用溶剤類が24億84百万円(同1.6%減)、特殊シンナー類が16億1百万円(同2.0%増)、単一溶剤類が60億24百万円(同6.8%減)、塗料・その他が8億17百万円(同10.5%増)、単一溶剤を中心とした商品が17億54百万円(同0.2%増)となりました。

利益面につきましては、運送費の上昇等がありました。原料市況に対応した効率的な原材料購入を引き続き推進した結果、営業利益8億45百万円(同93.3%増)、経常利益8億68百万円(同90.8%増)、四半期純利益6億1百万円(同101.7%増)と、いずれも増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、203億28百万円(前事業年度末比2億89百万円減)となりました。これは主に、現金及び預金の増加(同17億95百万円増)等があったものの、受取手形及び売掛金の減少(同12億89百万円減)、電子記録債権の減少(同4億26百万円減)、原材料及び貯蔵品の減少(同1億40百万円減)等があったことによるものであります。

負債総額は、78億24百万円(前事業年度末比7億14百万円減)となりました。これは主に、短期借入金の増加(同1億20百万円増)等があったものの、支払手形及び買掛金の減少(同9億40百万円減)等があったことによるものであります。

純資産は、125億3百万円(前事業年度末比4億25百万円増)となりました。これは主に、利益剰余金の増加(同4億63百万円増)等があったことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて17億95百万円増加し、33億30百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は、18億35百万円(前年同期は72百万円の収入)となりました。これは主に、税引前四半期純利益の計上8億91百万円、売上債権の減少17億16百万円等があったものの、仕入債務の減少9億40百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果得られた資金は、1億3百万円(前年同期は2億14百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出87百万円、投資有価証券の取得による支出62百万円があったものの、保険積立金の解約による収入2億62百万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は、1億44百万円(前年同期は3億41百万円の収入)となりました。これは主に、短期借入金の純増額1億20百万円があったものの、長期借入金の返済による支出91百万円、配当金の支払額1億37百万円等があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、第2四半期及び通期の業績予想の見直しを行った結果、2019年5月14日の決算短信で公表いたしました、第2四半期及び通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、2019年10月25日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,289,154	4,084,691
受取手形及び売掛金	9,786,122	8,496,387
電子記録債権	2,096,177	1,669,577
商品及び製品	158,497	168,862
原材料及び貯蔵品	682,660	541,899
その他	167,731	179,373
貸倒引当金	△5,847	△5,002
流動資産合計	15,174,495	15,135,788
固定資産		
有形固定資産	4,054,082	4,034,415
無形固定資産	62,027	58,876
投資その他の資産		
その他	1,354,991	1,119,561
貸倒引当金	△28,583	△20,630
投資その他の資産合計	1,326,407	1,098,931
固定資産合計	5,442,518	5,192,222
資産合計	20,617,013	20,328,011
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,881,363	5,940,696
短期借入金	—	120,000
1年内償還予定の社債	70,000	35,000
1年内返済予定の長期借入金	178,600	168,600
未払法人税等	168,190	310,712
賞与引当金	140,500	130,660
その他	362,683	550,491
流動負債合計	7,801,336	7,256,160
固定負債		
長期借入金	416,200	334,400
退職給付引当金	130,501	127,321
役員退職慰労引当金	177,175	92,750
その他	14,200	14,200
固定負債合計	738,076	568,671
負債合計	8,539,412	7,824,831

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,000	729,000
資本剰余金	675,537	675,537
利益剰余金	10,602,443	11,066,321
自己株式	△12,407	△12,407
株主資本合計	11,994,573	12,458,451
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	83,026	44,728
評価・換算差額等合計	83,026	44,728
純資産合計	12,077,600	12,503,180
負債純資産合計	20,617,013	20,328,011

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	14,594,543	14,309,708
売上原価	12,571,554	11,677,883
売上総利益	2,022,988	2,631,825
販売費及び一般管理費	1,585,894	1,786,732
営業利益	437,094	845,093
営業外収益		
受取利息	185	172
受取配当金	11,472	11,708
保険返戻金	334	9,649
その他	10,177	10,597
営業外収益合計	22,170	32,127
営業外費用		
支払利息	1,586	1,624
手形売却損	1,561	1,356
社債利息	1,033	493
保険解約損	—	5,177
その他	—	73
営業外費用合計	4,182	8,726
経常利益	455,082	868,495
特別利益		
固定資産売却益	198	724
投資有価証券売却益	—	22,749
特別利益合計	198	23,474
特別損失		
固定資産売却損	177	121
固定資産除却損	2,735	220
特別損失合計	2,912	341
税引前四半期純利益	452,367	891,627
法人税等	154,285	290,492
四半期純利益	298,081	601,135

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	452,367	891,627
減価償却費	127,137	151,024
売上債権の増減額(△は増加)	△990,539	1,716,334
たな卸資産の増減額(△は増加)	16,891	130,395
仕入債務の増減額(△は減少)	515,536	△940,666
その他	35,224	27,632
小計	156,619	1,976,349
利息及び配当金の受取額	11,658	11,880
利息の支払額	△2,620	△2,118
法人税等の支払額	△92,967	△150,317
営業活動によるキャッシュ・フロー	72,689	1,835,793
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△192,765	△87,722
有形固定資産の売却による収入	1,380	3,908
無形固定資産の取得による支出	△5,355	△4,584
投資有価証券の取得による支出	△583	△62,698
投資有価証券の売却による収入	—	29,134
貸付金の回収による収入	1,330	1,330
保険積立金の積立による支出	△19,709	△33,862
保険積立金の解約による収入	900	262,368
差入保証金の差入による支出	△678	△225
差入保証金の回収による収入	613	953
その他	—	△4,800
投資活動によるキャッシュ・フロー	△214,868	103,801
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	120,000	120,000
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△106,650	△91,800
社債の償還による支出	△35,000	△35,000
自己株式の取得による支出	△1	—
配当金の支払額	△137,258	△137,258
財務活動によるキャッシュ・フロー	341,090	△144,058
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	198,911	1,795,536
現金及び現金同等物の期首残高	1,711,600	1,535,154
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,910,511	3,330,691

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

当社の事業は、シンナー製造事業の単一セグメントであるため、記載は省略しております。